

2022 年度（令和 4 年度）

# 事業報告書

一般財団法人 宇治市福祉サービス公社

# 2022 年度（令和 4 年度）事業報告書 目次

## I 事業計画の総括（事業方針と重点項目）

総括 ----- 1

重点項目実施状況 ----- 2

## II 理事会・評議員会等開催状況

（1）理事会開催状況 ----- 5

（2）評議員会開催状況 ----- 7

III 役員・評議員等名簿 ----- 8

## IV 事業実績

公社独自事業 ----- 9

介護保険事業 ----- 13

障害者総合支援事業 ----- 17

宇治市受託事業 ----- 19

## I 事業計画の総括（事業方針と重点項目）

### 総括

公社の財務状況は、2013（平成 25）年度の一般財団法人への移行後、厳しい決算状況が続いていたため、理事会の内部組織として「経営改革 5 ヶ年計画推進調整会議」を設置し、その中で当面の改善対策をまとめた「経営改革 5 ヶ年計画」を策定し、理事会の報告・承認を受け、事業部門別に改革を進めてきた。

2022（令和 4）年度は、その「経営改革 5 ヶ年計画」の最終年度であり、残された課題の解決に向けて役職員一丸となって取り組み、役員報酬カットや管理職昇給停止による人件費の一部削減、組織体制の見直しや各種事業の効率化による支出抑制、受託事業の受託料積算根拠の見直しや中宇治事業所庁舎の賃借料の減額による市の支援等により、財務的には 1 億円超の効果を得ることができた。

しかしながら、当期決算について云えば、公社収益の柱となっている介護保険事業の実績の減少傾向を食い止めることができなかったことに加え、新規事業が軌道に乗るまでに一定期間要したことや光熱水費の増大等で、投資・財務活動経費も含めて収支計算書で 4,375 千円の赤字（前期 4,362 千円の赤字）、正味財産増減計算書で 873 千円の減少（前期 7,212 千円の増加）となり、依然としてこの間の減収増益という倒立・脆弱な財務体質から脱却ができておらず、引き続き格段の改革努力が強く求められるところである。

公社を取り巻く情勢としては、介護人材確保の課題、新型コロナウイルス感染症の影響、エネルギー価格の高騰等、様々な厳しい状況下が続いているが、本来の安定した財務健全化を図っていく上で、その諸課題への計画的且つ具体的な対策が引き続き必要なことから、「経営改革 5 ヶ年計画」の限界克服の意味も込めて、更なる 5 ヶ年を見据えた「中期経営戦略計画」を年度末に策定し、持ち越された課題・構造的課題への解決策を打ち出していくこととした。

その「中期経営戦略計画」の中で、①障害者サービスの事業拡充、②居宅介護支援事業所の拠点集約化、③効率的で実効性のある組織の再編、④多様な働き方と定年後の再雇用、の 4 項目については、重点施策として取り組むこととしており、早期に結論を出していきたい。

また、公社の設立趣旨にある「従来の公的サービスの統合を図り、更にきめ細かい、独自のサービスを付加した包括的で、総合的な在宅保健福祉サービスを展開するため、行政の公共性と民間企業の効率性を併せて基盤に据えた供給主体」という理念を踏まえ、改めて市とも協議・連携を深めながら、公社の役割を果たしていくことが不可欠となる。

2023（令和 5）年度以降においても、公社の主要事業である「公社独自事業」、「介護保険事業」、「障害者総合支援事業」、「市受託事業」の 4 本柱の事業をそれぞれの確に遂行し、市や社会福祉協議会をはじめとする関係機関や諸団体との連携・協力のもと、宇治市域の在宅保健・福祉サービス等の更なる充実・向上に寄与していけるよう、役職員が一丸となって取り組んでいく所存である。

## 重点項目実施状況

2022（令和 4）年度の重点項目については以下の通り取り組んだ。

- （1）最終年度となる「経営改革 5 ヶ年計画」の残された課題に取り組むとともに、改革内容の成果や課題を総括し、計画終了以降における公社「(仮)中期経営戦略プラン」策定に繋げていく取り組みを推進する。

### 【結果】

#### 《介護保険部門》

- 2022（令和 4）年度の新規事業として中宇治事業所 1 階に施設整備した短時間型通所施設「リハビリデイサービスぽっぽ中宇治」は介護予防サポートセンターの長年にわたる介護予防事業のノウハウを踏まえて、質の高い介護予防プログラムを提供することを掲げて開所した。利用実績は当初の見込みよりも登録者数の伸びが緩やかであり、今年度の契約者数は 87 名（内 13 名が廃止）であった。このため、平均稼働率は 35%に留まったが、月を追うごとに登録者数は増えており、次年度に向けては更に登録者数を増やし安定した運営ができるよう取り組む。
- 既存のデイサービスについては、西小倉事業所は年間の稼働率が通常規模型 91%、認知症対応型 78%と共に一年を通して高い稼働率で安定した実績を上げたが、東宇治事業所 58%、広野事業所 78%と低調に終わった。とりわけ東宇治事業所については昨年度からの利用登録者の減少傾向に歯止めがきかず、極めて厳しい状況が続き、それを打破すべく介護予防二ーズの掘り起こしから稼働率の向上に結び付けるために、年度途中にリハビリ機器を導入したがそれを活かすことができずその結果を出すことができなかった。次年度にはそうした投資を最大限有効に活かすために東宇治事業所の経営改善を最重要課題と位置付けて組織的に対策を図っていく。
- ホームヘルプ事業については事業の要であるホームヘルパーの確保が年々困難となり、2016（平成 28）年度以降減収傾向にあったが、2018（平成 30）年度以降は減少率が鈍化し、収支差額は若干増加してきている。これは西小倉・広野両事業所の統合による効果とみなすことができる。しかしながら、ホームヘルパーの高年齢化と人材不足は依然として大きな課題であり、引き続き公社基幹事業であるホームヘルプ事業の次なるサービス提供体制の在り方を検討する必要がある。
- 居宅介護支援事業については、介護保険市場全体としても介護支援専門員の確保が厳しくなっており、欠員が生じていた広野事業所においては、今年度に介護支援専門員 1 名を確保することができたものの、特定事業所加算取得のための要件を満たすことができず、減収となっている。人材確保難は今後も続くため、各種の業務負担軽減措置を講じつつ、安定した給付管理件数を維持できるよう、併せて社内での介護支援専門員の養成にも力を注いでいくことが必要となる。更に今後の制度改正を見据えて居宅介護支援事業所の再編も検討課題とする。

### 《障害者総合支援法部門》

- 障害者相談支援センターは常勤職員の専従 2 名体制を組み、サービス計画担当受持ち人数 70 名を目標に、新規利用者の確保に向けた広報活動等に取り組んだが、結果としては年間 12 名の新規利用者が得られたが、年度末時点での受持ち人数 60 名であり、目標数を 10 名下回る結果となった。
- 一方、ホームヘルプサービスにおける障害福祉サービスについては年間を通して比較的安定した利用実績を確保できており、今後の事業展開においても重点化するサービスとして位置付け、より専門性の高いサービス提供を行うための検討を進める。
- 事業計画に掲げた新たな障害福祉サービスの検討については今年度中には実行できなかったため、次年度からの「(仮)中期経営戦略プラン」に位置付けて検討作業を行っていく。

### 《宇治市受託事業部門》

- 宇治市からの受託事業については、市のパートナーとして在宅保健福祉サービスはもとより、市から介護予防事業や認知症予防事業等を受託し、経験豊富な専門職による他の事業者にはできない市民ニーズに即した事業を展開してきた。
- 今年度も各々の受託仕様にに基づき事業を遂行することができたが、事業計画にある「担当課との定期的な意見交換の場の開催」については実施できなかった。
- 次年度に向けては、受託料や受託仕様に未だ課題もあることから、引き続き継続的な協議の場を設けることができるように働きかけ、基本的には受託事業を継続するとともに、パートナーとしての関係を継続し会社の強みを活かした事業を進めて行く。

### 《公社独自事業部門》

- 介護保険外サービス（ほほえみサポート）の利用ニーズの増大に伴い、定期的な業務の希望も増えてきたが、従事するサポーターの確保については増員を図ることができず現状維持となった。
- ほほえみ介護塾についてはコロナ禍にも拘わらず、定員を確保して開講することができていることと、そこから公社への入職に繋がるケースも増えており、今後も市民に受講し易い、専門性の高い講座を開講できるよう、講師にあたる専門職の質の向上と併せて取り組んでいく。

### 《事務局総務部門》

- 事業計画に掲げた総務部門、事業所事務部門において「経営戦略を立てられる体制づくり」については、現状の総務係、事業所事務の課題整理が十分に進んでおらず実現に至っていない。現状の総務係集約型から、事業所完結型への移行に向けて引き続き総務部門の課題について「(仮)中期経営戦略プラン」に位置付けられた事項を確実に遂行していく。

(2) 公社設立理念を踏まえた利用者、市民から期待されるこれからの公社としてのあるべき姿を示しながら、新規事業も含めた各種事業運営を効率的・効果的に推進する。

**【結果】**

- 地域福祉センターを活用した事業については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止という制約もある中で十分な取り組みには至っていない。とりわけ、浴室開放が長らく休止していることで、デイルームの利用者の減少等もあり、今後の地域福祉センターの活用方法についても見直しが必要である。指定管理を受けている公社としても地域ニーズや国の動向も踏まえながらその活用方法については、引き続き宇治市とともに研究、検討を行う。
- 産後ケア事業といった新たな分野については、少子化対策や子育て支援の重要性からも今後公社として積極的に関与していくことが求められるため、宇治市担当課との協議も積極的に図っていく。

(3) 人材難を乗り越えるための具体的な対策、業務内容や役割分担の見直し等、働きやすさと働き甲斐のある職場環境づくりに向けた更なる取り組みを多角的に推進する。

**【結果】**

《人材確保と人材育成の在り方検討》

2022年(令和4年)度の新規入職者数は27名(プロパー職員5名、アルバイト22名)であり、退職者数は36名(プロパー職員9名、アルバイト27名)であった。内、「ほほえみ介護塾」の受講者の採用については7名であった。

プロパー職員について、これまで介護福祉士のみとしていた採用要件を介護職員実務者研修修了者まで拡大した。

※ <2023(令和5)年4月1日付採用のプロパー職員7名(内、アルバイトからの転換2名)>

《職員の定着と、働き甲斐ある仕事づくり、職場環境づくり》

「働き方検討委員会」でのダブルワーク(兼業・副業)についての意見具申を受けた。

「介護労働安定センター」への委託研修については介護職員向けの研修として開催した。

《処遇改善》

国の処遇改善等の制度の活用し、対象事業所内での介護職以外への処遇改善の実施等も行った。

## Ⅱ 理事会・評議員会等開催状況

### (1) 理事会開催状況

#### 第72回 理事会 [2022(令和4)年6月2日開催]

議案第1号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2021年度(令和3年度)事業報告書(案)」について
議案第2号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2021年度(令和3年度)決算報告書(案)」について
議案第3号	「定時評議員会(第25回評議員会)の招集及び提出議案」について
報告第1号	「理事長等執務報告」について
報告第2号	「第4期人材育成計画(案)」について
報告第3号	「新規事業の進捗状況」について
報告第4号	「新型コロナウイルスによる影響等の近況報告」について
報告第5号	「2021年度 下半期事故・苦情・サンクスレポート」について
報告第6号	「2022年度 夏季賞与、特別賞与の支給」について
報告第7号	「電気料金単価見直しに伴う影響額」について

#### 第73回 理事会 [2022(令和4)年7月22日開催] (みなし理事会)

議案第4号	「第26回評議員会の開催」について
-------	-------------------

#### 第74回 理事会 [2022(令和4)年8月10日開催]

議案第5号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2022年度(令和4年度)収支補正予算書〈第1号〉(案)」について
報告第8号	「理事長等執務報告」について
報告第9号	「2022年度(令和4年度)第1四半期収支実績・決算見込み」について
報告第10号	「宇治市出資法人自己評価報告書の提出」について

#### 第75回 理事会 [2022(令和4)年9月20日開催] (みなし理事会)

議案第6号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程」の一部改正について
議案第7号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 支援員等の雇用に関する規程」の一部改正について

#### 第76回 理事会 [2022(令和4)年11月11日開催]

議案第8号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員就業規則」の一部改正について
議案第9号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 育児・介護休業規程」の一部改正について
報告第11号	「理事長等執務報告」について
報告第12号	「公社中期経営戦略計画(素案)」について
報告第13号	「2022年度(令和4年度)上半期収支実績及び決算見込み」について
報告第14号	「2022年度(令和4年度)冬季賞与・特別賞与の支給」について
報告第15号	「2022年度(令和4年度)上半期事故・苦情・サンクスレポート」について
報告第16号	「市議会全員協議会報告(9月)における質疑応答概要」について

**第 77 回 理事会 [2023 (令和 5) 年 1 月 26 日開催]**

議案第 10 号	「第 27 回評議員会の招集及び提出議案」について
議案第 11 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 中期経営戦略計画(案)」の策定について
報告第 17 号	「理事長等執務報告」について
報告第 18 号	「2022 年度(令和 4 年度)第 3 四半期収支実績及び決算見込み」について
報告第 19 号	「2023 年度(令和 5 年度)事業計画の概要」について
報告第 20 号	「新型コロナウイルス感染状況の報告」について

**第 78 回 理事会 [2023 (令和 5) 年 3 月 28 日開催]**

議案第 12 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2022 年度(令和 4 年度)収支補正予算書〈第 2 号〉(案)」について
議案第 13 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2023 年度(令和 5 年度)事業計画書(案)」について
議案第 14 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2023 年度(令和 5 年度)収支予算書(案)」について
議案第 15 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2023 年度(令和 5 年度)管理職体制」について
議案第 16 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 理事、監事及び評議員の報酬及び支給の要件並びに費用弁償に関する規則」の一部改正について
議案第 17 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員給与規程」の一部改正について
議案第 18 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員退職金規程」の一部改正について
議案第 19 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 事務局長、事務局次長、企画監、所長及び課長の専任事務を定める要綱」の一部改正について
議案第 20 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 経営改革 5 力年計画」の総括について
報告第 21 号	「理事の選任」について
報告第 22 号	「評議員の選任」について
報告第 23 号	「理事長等執務報告」について
報告第 24 号	「2022 年度(令和 4 年度)決算見込み」について
報告第 25 号	「新型コロナウイルス感染状況の報告」について

**第 79 回 理事会 [2023 (令和 5) 年 3 月 28 日開催]**

議案第 21 号	「専務理事の選定」について
----------	---------------

## (2) 評議員会開催状況

### 第25回 定時評議員会 [2022(令和4)年6月24日開催]

議案第1号	「理事の選任」について
議案第2号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2021年度(令和3年度)決算報告書(案)」について
報告第1号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2021年度(令和3年度)事業報告書」について
報告第2号	「理事長等執務報告」について
報告第3号	「第4期人材育成計画」について
報告第4号	「新規事業の進捗状況」について
報告第5号	「新型コロナウイルスによる影響等の近況報告」について
報告第6号	「2021年度 下半期事故・苦情・サンクスレポート」について
報告第7号	「2022年度 夏季賞与、特別賞与の支給」について
報告第8号	「電気料金単価見直しに伴う影響額」について

### 第26回 評議員会 [2022(令和4)年8月10日開催]

報告第9号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2022年度(令和4年度)収支補正予算書〈第1号〉(案)」について
報告第10号	「理事長等執務報告」について
報告第11号	「2022年度(令和4年度)第1四半期収支実績・決算見込み」について
報告第12号	「宇治市出資法人自己評価報告書の提出」について

### 第27回 評議員会 [2023(令和5)年3月28日開催]

議案第3号	「理事の選任」について
議案第4号	「評議員の選任」について
議案第5号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 理事、監事及び評議員の報酬及び支給の要件並びに費用弁償に関する規則」の一部改正について
報告第13号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2022年度(令和4年度)収支補正予算書〈第2号〉(案)」について
報告第14号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2023年度(令和5年度)事業計画書(案)」について
報告第15号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2023年度(令和5年度)収支予算書(案)」について
報告第16号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2023年度(令和5年度)管理職体制」について
報告第17号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員給与規程」の一部改正について
報告第18号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員退職金規程」の一部改正について
報告第19号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 事務局長、事務局次長、企画監、所長及び課長の専任事務を定める要綱」の一部改正について
報告第20号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 経営改革5カ年計画」の総括について
報告第21号	「理事長等執務報告」について
報告第22号	「2022年度(令和4年度)決算見込み」について
報告第23号	「新型コロナウイルス感染状況の報告」について

### Ⅲ 役員・評議員等名簿

#### (1) 役員名簿（2023（令和5）年3月31日現在）

役職	氏名	備考
理事長	塚原 理俊	有識者
副理事長	奥西 隆三	宇治市社会福祉協議会会長
専務理事	栢木 利和	宇治市福祉サービス公社理事
理事	有賀やよい	医師
理事	笹部 和男	弁護士
理事	五艘 雅孝	有識者
理事	星川 修	宇治市健康長寿部部長
理事	小松美恵子	元小学校校長
理事	平田 研一	認知症予防ネット理事長
監事	池田 正彦	宇治東福祉会専務理事
監事	小林 幸大	京都銀行宇治支店長

名誉理事長	岡本 民夫	前宇治市福祉サービス公社理事長
顧問	伊藤 義明	前宇治市福祉サービス公社副理事長

#### (2) 評議員名簿（2023（令和5）年3月31日現在）

役職	氏名	備考
評議員	岡野 英一	京都ボランティア協会理事
評議員	山崎 彰	宇治市連合喜老会副会長
評議員	神野 君夫	宇治久世医師会理事
評議員	関戸 安夫	宇治市民生児童委員協議会理事
評議員	波戸瀬 亮	宇治市健康長寿部副部長
評議員	小松 一子	元大学教員
評議員	菊池ゆかり	山城福祉会地域生活支援室室長

#### (3) 第三者委員名簿（2023（令和5）年3月31日現在）

役職	氏名	備考
委員	山花 啓伸	
委員	高田智恵子	

※介護保険事業・障害者総合支援事業の利用者等に対する第三者的な相談・苦情窓口

# 公社独自事業

＜定款第4条(1)＞ 在宅保健福祉サービスの調査研究、知識の普及啓発、相談等に関する事業

＜定款第4条(2)＞ 自主的な在宅保健福祉サービスの提供に関する事業

＜定款第4条(10)＞ 地域保健福祉に寄与する関係団体等に関する支援、助成事業



【地域からの依頼を受け、サロンでの講師を務める公社職員】

## 公社会員の状況

≪2022（令和4）年度会員数≫ 賛助会員（法人会員 25団体 ・ 個人会員 75名）

## 情報誌の発行

公社情報誌「ぽっぽ」（各 2,500 部発行）を公社会員や利用者、関係機関等に配布し、知識・情報の普及啓発を行った。

### ◆実績

第 50 号（2022（令和4）年 9 月発行）

第 51 号（2023（令和5）年 1 月発行）

## 講師派遣

「ほほえみ介護塾」の講師を職員が担い、在宅保健福祉サービスについての知識の普及啓発を行った。

### ◆実績

派遣内容	派遣回数
介護塾講師	33 回

## 情報の収集と提供

公社情報誌「ぽっぽ」、公社ホームページを活用して利用者・市民に向け、公社で実施する事業の情報提供を行った。8 月にはデザイン、コンテンツ、スマートフォン対応等、ホームページの全面リニューアルを行った。

また、インターネット上における介護関係の情報収集に努め、各職員に周知を図るとともに、事業所ブログ（年間更新 72 回）や Facebook や Twitter、Instagram、LINE 公式アカウントを活用して、公社の取り組みや最新情報の発信に努めた。

（ホームページ閲覧者及び表示回数）

		10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
HP 全体	閲覧者数	348	451	480	682	478	553	2,992
	表示回数	1,940	2,137	2,411	3,225	2,241	2,553	14,507
求人概要 ページ	閲覧者数	51	59	68	176	96	98	548
	表示回数	102	96	114	298	144	160	914

## 介護保険外訪問介護サービス（自主サービス） 通称「ほほえみサポート」

介護保険法で対応できない家事支援等の利用者ニーズに対して、自主サービスとして実施した。  
 ＊通院介助、一時的な掃除・整理整頓、絵画教室等への外出介助、産後ケア終了後の家事支援等

### ◆実績

（ほほえみサポート）

		昨年度
実人数	24名（介護・障害・産後）	22名（介護・障害・産後）
派遣回数	191回	412回
派遣時間	306時間 30分	553時間 15分

（院内介助）

	東宇治	ぽっぽ	計	昨年度
実人数	3名	4名	7名	12名
派遣回数	4回	9回	13回	23回
派遣時間	6時間 50分	17時間 50分	24時間 40分	35時間 50分

## 福祉人材研修事業

### 1) ほほえみ介護塾

介護人材の確保が喫緊の課題となっている状況において、ほほえみ介護塾は自社での養成事業として重要な役割を持つ事業である。今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、開催日程を変更して開催し、定員20名に対して14名の応募があった。

その内、受講前アンケートで「すぐ働きたい」「いずれ働きたい」と答えた11名の内、7名が会社への入職に繋がった。

### ◆実績

実施時期	6月27日～12月28日
受講者数	14名
修了者数	14名
入職者数	7名

## 2) 介護技術習得・介護予防ボランティア養成サービス

新型コロナウイルスによる人数制限が発生する前は、介護予防事業を支援するサポーターの育成や既にサポーターとして活躍している方々の研修の場として、年数回の研修会を企画していたが、ボランティア活動が制限される中で、交流や意見交換を目的に、状況把握や運動の振り返りを行う内容で2回に分けて実施した。

### ◆実績

開催日	テーマ	参加者数
9月29日	地域ぐるみでフレイル予防（宇治市総合福祉会館）	22名
10月6日	地域ぐるみでフレイル予防（西小倉地域福祉センター）	17名

## 3) 公社サービス利用者等リハビリサポート

リハビリ専門職が公社内外のデイサービスやケアマネジャー等からの依頼を受けて、サービス利用者へ運動指導や福祉用具を含む住環境改善等のアドバイスを行った。

公社内事業所の支援が主で、地域包括支援センターから6件、ケアマネジャーから5件、相談支援専門員から6件の相談があった。また、デイサービス内での個別指導を2件行った。

### ◆実績

	運動指導等リハビリ相談	福祉用具等住環境改善相談
実施回数	18回	1回



【リニューアルした公社ホームページ】

# 介護保険事業

<定款第4条(3)> 居宅介護支援、介護予防支援に関する事業

<定款第4条(4)> 訪問介護、訪問介護相当サービス、生活支援型訪問サービスに関する事業

<定款第4条(5)> 通所介護、通所介護相当サービスに関する事業

<定款第4条(6)> 介護予防・日常生活支援総合事業に関する事業



【広野デイサービスでの書道レク】



【西宇治図書館と西小倉デイでの交流お話サロン】



【東宇治デイサービスでの消火訓練】

## 居宅介護支援事業

要支援・要介護の方からの相談に応じて、利用者の希望や心身の状態等を考慮した、適切な在宅または施設のサービスが利用できるよう、各種サービス事業者との連携を図り、介護及び介護予防サービス計画の作成、サービス提供の確保を行った。

### ◆実績

	西小倉	東宇治	広野	中宇治	計	昨年度
介護支援専門員数	5名	4名	3.9名	4名	16.9名	18名
延給付管理件数	2,256件	1,786件	1,776件	1,845件	7,663件	7,687件
事業対象者	0	0	25	0	25	16
要支援 1	133	194	159	252	738	682
要支援 2	131	160	221	225	737	832
要介護 1	998	750	654	762	3,164	3,026
要介護 2	430	364	337	243	1,374	1,500
要介護 3	345	216	167	190	918	869
要介護 4	119	49	125	143	436	507
要介護 5	100	53	88	30	271	255
一人当り給付管理/月	35.4件	33.5件	33.6件	33.5件	34.1件	32.0件

※一人当り給付管理は、予防給付等（事業対象者・要支援 1・2）については 1/2 件でカウント

### ◆各事業所の特徴

#### 【西小倉】

併設の西宇治地域包括支援センターからの相談が多いが、圏域に居宅介護支援事業所が少ないこともあり地域の方から直接の相談も多い傾向にある。係の5名が全員主任介護支援専門員で、勉強会では委員長や事例提供も積極的におこなっている。

#### 【東宇治】

圏域全体でケアマネジャー不足が深刻であり、通常の新規相談に加えて併設の東宇治南地域包括支援センター、他法人の居宅介護支援事業所が人員体制上の理由で担当できないケースの受け入れを行った。

#### 【広野】

人員体制が加算基準を満たしていなかったため、特定事業所加算の算定が年間を通じてできなかった。包括支援センター併設ではないものの、新規受け入れの問い合わせも多く、初回加算算定数は予防給付 14 件、介護給付 70 件となっている。

#### 【中宇治】

昨年度と比べると給付管理件数は若干減少したが、年間を通して大きな変動がなく推移した。中宇治包括との連携により予防給付の委託件数は 4 事業所で最も多い。

## 訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

要支援・要介護の方に対して、ホームヘルパーを派遣し、自立した日常生活を営むことができるよう、排泄・食事・入浴等の身体介護や、掃除・調理等の生活援助を行った。

### ◆実績

			東宇治	ぼっぼ	計	昨年度
＊ 介 護 給 付	身 体 介 護	延利用人数	516名	596名	1,112名	1,037名
		延派遣回数	4,481回	8,379回	12,860回	13,047回
	身 体・生 活	延利用人数	347名	204名	551名	519名
		延派遣回数	2,151回	1,476回	3,627回	4,672回
	生 活 援 助	延利用人数	540名	1,231名	1,771名	1,911名
		延派遣回数	2,492回	8,161回	10,653回	12,535回
＊ 予 防 給 付	予 防 介 護 I (週1回程度の訪問)	延利用人数	571名	303名	874名	973名
		延派遣回数	2,298回	1,156回	3,454回	3,656回
	予 防 介 護 II (週2回程度の訪問)	延利用人数	67名	108名	175名	161名
		延派遣回数	511回	892回	1,403回	1,332回
	予 防 介 護 III (週2回程度を超える訪問)	延利用人数	0名	0名	0名	3名
		延派遣回数	0回	0回	0回	25回
総合 事業	生活支援型訪問サービス (週1回程度の家事)	延利用人数	34名	78名	112名	133名
		延派遣回数	115回	286回	401回	456回
計		延利用人数	2,075名	2,520名	4,595名	4,737名
		延派遣回数	12,048回	20,350回	32,398回	35,723回

※介護給付は要介護1～5の方、予防給付は要支援1～2の方、総合事業は事業対象者・要支援の方を対象

### ◆各事業所の特徴

#### 【ぼっぼ】

年間を通じてサービス提供責任者の体制に課題があり、受け入れ上限数に制限がかかり、積極的な新規利用者の獲得につながらなかった。またヘルパー等職員のコロナ感染者・濃厚接触者が延べ33名、私傷病等での休業者も6名あり、事業運営にも影響があった。

#### 【東宇治】

延べ利用人数は微増、派遣回数は減少した。サービス提供責任者1名欠員の体制ではあるが、契約HHは1名増、支出抑制もあり収支はやや改善した

## 通所介護事業（デイサービス）

要支援・要介護状態の方に対して、通所（送迎）による入浴、食事等の各種サービス、及びそれぞれのニーズに応じた介護、機能訓練等を提供し、利用者個々に満足してもらえるサービスの提供を行った。

### ◆実績

施設区分	西小倉		東宇治	広野	中宇治	計	昨年度
	通常型	認知症型	通常型	通常型	短時間型		
定員	25名	10名	25名	23名	30名	113名	83名
運営日数	361日	310日	361日	359日	248日		
延利用人員	8,268名	2,421名	5,225名	6,534名	2,601名	25,049名	22,780名
事業対象者	0	0	0	0	366	366	3
要支援1	91	0	173	193	1,312	1,769	345
要支援2	757	0	431	517	923	2,628	1,976
要介護1	3,633	353	1,861	2,943		8,790	8,745
要介護2	1,996	645	1,533	920		5,094	5,417
要介護3	927	765	722	723		3,137	3,305
要介護4	772	317	349	702		2,140	1,853
要介護5	92	341	156	536		1,125	1,136
1日平均人数	22.9名	7.8名	14.5名	18.2名	10.5名		

### ◆各事業所の特徴

#### 【西小倉】

令和4年度スタート時より稼働率は高い数値で維持することができ、年間を通して通常規模型が91.61%・認知症対応型が78.09%の稼働率を記録した。新型コロナウイルス感染症については、職員、お客様共に感染者が出ていたが、複数の感染者を出すことなく休業することなく営業することができた。

#### 【東宇治】

正職員3名（1名欠員）でスタート、年間で新規登録者26名に対して廃止が27名となり、登録者数減少、稼働率の改善ができなかった。機能訓練機器を導入したが、アルバイト職員減などの人員体制の中、新規獲得に有効に活用できなかった。

#### 【広野】

4月に新型コロナウイルスの集団感染が発生し、2日間休業することとなった。その後も感染者の発生による利用控え等もあり稼働率に影響した。9月から数年来欠員であった正職員の補充ができ、令和5年に入り稼働率も右肩上がりになってきた。

#### 【中宇治】

令和4年4月に新規事業所として中宇治事業所内に開設した。当初の目標値よりも利用登録者数は下回ったが、介護予防サポートセンターの協力により専門的なプログラムを提供することで、利用者から好評を頂いている。

# 障害者総合支援事業

<定款第4条(7)> 障害者福祉サービスに関する事業

<定款第4条(8)> 障害児福祉サービスに関する事業



【京都府理学療法士会の講師による腰痛予防のヘルパー研修】



【ヘルパーの介護技術研修】

## 居宅介護事業（ホームヘルプサービス）

障害者総合支援法に基づき、対象の方に対してホームヘルパーを派遣し、可能な限りその有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう支援した。

### ◆実績

	東宇治	ぽっぽ	計	昨年度
実利用者数	33名	58名	91名	87名
派遣回数	3,306回	7,118回	10,424回	10,827回
派遣時間	4,886時間 20分	6,579時間	11,465時間 20分	10,648時間 45分

## 移動支援

障害者総合支援法に基づき、対象の方に対してホームヘルパーを派遣し、外出のための移動支援を行った。

### ◆実績

	東宇治	ぽっぽ	計	昨年度
実利用者数	2名	3名	5名	11名
派遣回数	168回	165回	333回	587回
派遣時間	85時間 30分	112時間 30分	198時間	334時間

### ◆各事業所の特徴

#### 【ぽっぽ】

派遣回数、派遣時間数ともに前年度より減少しているが、実利用者数は、介護保険制度との併用利用者もあり増加（前年度 54 名）に転じた。移動支援利用者は前年度実利用者数 8 名より大幅に減少した。

#### 【東宇治】

実利用者は同数で派遣回数は若干減少しているが、派遣時間は 500 時間程度増加している。移動支援の利用者は 1 名減であるが、派遣回数、時間が多い方であったため、約 3 分の 1 に減少した。

## 障害者相談支援センター

障害のある方やお子さん、その家族が抱える悩みや困りごとについての相談や、一人ひとりが望む地域生活の実現のために、専任で 2 名の相談支援専門員を配置してサービス等利用計画支援を行った。

### ◆実績

	サービス利用計画作成	昨年度
総件数	691 件	658 件
実人数	69 名	62 名

# 宇治市受託事業

<定款第4条(9)> 在宅保健福祉サービスに関する受託事業



【健康長寿フェス 2023 の模様】



【宇治市植物公園でのレモンの木記念植樹】

## 訪問型事業

### 1) 訪問指導事業（健康増進法に基づく事業）

40歳以上65歳未満の心身機能が低下している方を対象に、自宅に訪問し、運動指導や日常生活動作指導を行う事業であり、介護保険や障害者総合支援法等で当該事業に相当するサービスを利用できる方は除外され、市の担当者が必要と判断された方が対象となる。

宇治市担当課での広報のみであり、前年度に続き実績がない状況であった。市民への事業の周知方法等、引き続き担当課との協議を行う。

### 2) 訪問型短期集中予防サービス

短期集中予防サービスの訪問型のうち、主に運動面に係る支援について委託を受け、地域包括支援センター等のケアマネジャーが作成するプランに基づき、1対象者当たり3ヵ月間で最大6回の支援を行う。リハビリ専門職の視点から、生活課題に対する評価や改善プログラムを計画し取り組みを支援した。

また、通所型サービス利用者は、訪問型を最大2回まで利用し、自宅での状況把握や指導を行うことで、生活課題の改善に向けた支援に繋がった。

◆実績	延べ	151件	（実人数	60名）
	内）	通所型併用	56件	（実人数 41名）
		訪問型	95件	（実人員 19名）

## 通所型介護予防事業

### 1) 健康倶楽部

65歳以上の市民を対象に、市政だよりで募集し抽選で決定した対象者に対して、運動器向上プログラムを中心とした一般介護予防事業「健康倶楽部」を行った。

自分の体重を活用した運動を主とする「スロートレーニング教室」、機器を使ったトレーニングで身体の動きやすさを改善する「パワリハトレニング教室」、複合型のプログラムを有した「スロートレーニング教室（ミックス）」の3種類の教室を広野地域福祉センター等の各会場にてそれぞれ20回を2クール又は4クール実施した。

◆スロートレーニング教室	
（実施回数）	160回
（実人数）	150名
（延参加者数）	2,581名

会場	実施回数	実人数	延参加者数	平均参加者数 (小数点第2位を四捨五入)
東宇治A	40回	24名	412名	10.3名
東宇治B	40回	42名	733名	18.3名
西小倉	40回	43名	756名	18.9名
広野	40回	41名	680名	17.0名
計	160回	150名	2,581名	16.1名

◆パワリハトレーニング教室

(実施回数) 240回  
(実人数) 161名  
(延参加者数) 2,756名

会場	実施回数	実人数	延参加者数	平均参加者数 (小数点第2位を四捨五入)
A広野	80回	59名	1,039名	13.0名
B黄檗	80回	44名	763名	9.5名
C広野	80回	58名	954名	11.9名
計	240回	161名	2,756名	11.5名

◆スロートレーニング教室（ミックス）

(実施回数) 80回  
(実人数) 53名  
(延参加者数) 881名

会場	実施回数	実人数	延参加者数	平均参加者数 (小数点第2位を四捨五入)
西小倉	40回	32名	533名	13.3名
あいらの杜→東宇治	40回	21名	348名	8.7名
計	80回	53名	881名	11.0名

## 2) 通所型短期集中予防サービス

短期間で集中的に心身機能の向上に取り組み、生活課題を改善し日常生活への定着を目標とするサービスとして、栄養・口腔ケアの内容を含む複合型のコースを2会場でそれぞれ週1回ずつ実施した。参加者は随時受け入れ、一人につき10回を1クールとし、各会場年間40回の予定で開催した。

地域包括支援センター等のケアマネジャーによるプランに基づき、通所前後を含む期間中の最大2回までの訪問型サービスを併用し、自宅での評価や指導を行った。

### ◆通所型短期集中予防サービス

(実施回数)	80回
(実人数)	39名
(延参加者数)	275名

会場	実施回数	実人数	延参加者数	平均参加者数 (小数点第2位を四捨五入)
黄檗体育館	40回	22名	170名	4.3名
広野	40回	17名	105名	2.6名
計	80回	39名	275名	3.4名

## 3) セルフパワリハ

65歳以上の利用希望者で、宇治市担当課で受け付け、登録された方が実施日に広野地域福祉センターへ来所してトレーニングを行う事業であり、利用者の自己管理・自主トレーニングを基本とし、機器操作や運動方法、安全管理等を専門職が指導した。

今年度も新型コロナウイルスの影響を受け、抽選による時間入れ替え制で人数を1単位16名×3単位、計48名までとし、各自での準備体操と機器トレーニングのみを行った。

### ◆実績

会場	実施回数	新規登録者数	延参加者数	平均参加者数 (小数点第2位を四捨五入)
広野	90回	24名	2,432名	27.0名

## 4) 認知症予防教室

65歳以上で認知機能の活性化に関心のある方に対して、市内の介護予防拠点施設を中心に市内8会場(4会場×2クール)で「あたまイキキ教室」を開催し、教室に継続的(週1回20回)に参加する中で、他者との交流を深めながら、脳活性化訓練等を行い、生活の活性化を図ることを目的として実施した。

前年度参加していない方を優先とし、会場ごとに安全に実施できる人数を設定して開催した。

◆実績

(実施回数)	160回
(実人数)	135名
(延参加者数)	2,273名

会場	実施回数	実人数	延参加者数	平均参加者数 (小数点第2位を四捨五入)
菟道集会所	20回	15名	234名	11.7名
東宇治コミュニティーセンター	20回	21名	395名	19.8名
小倉デイホーム	20回	14名	231名	11.6名
六地藏公会堂	20回	15名	229名	11.5名
うじ安心館	20回	18名	318名	15.9名
グリーンタウン榎島	20回	16名	251名	12.6名
リエゾン宇治おおくぼ	20回	18名	295名	14.8名
西小倉地域福祉センター	20回	18名	320名	16.0名
計	160回	135名	2,273名	14.2名

### 5) 地域リハビリテーション活動支援事業（地域 de げんき講座）

地域で介護予防に取り組むグループの活動や自主グループの立ち上げを支援する目的で、リハビリテーション専門職等が地域の活動の場へ出向き、グループの要望に応じた講話や運動プログラムの体験を提供し、介護予防の啓発や身近な地域での健康維持・増進に役立てていただく事業を行った。

市政だよりとチラシの配布等で募集を行い、半数が65歳以上で構成される10名以上の登録があるグループを対象とした。終了時には実施状況の振り返りや依頼団体の把握のためのアンケートも実施した。

◆実績

(実施回数)	72回
(延参加者数)	1,009名

## 地域包括支援センター運営事業

市からの受託事業として、市内3カ所（西宇治、東宇治南、中宇治）を拠点に、地域包括支援センターの運営事業を行った。

### 1) 介護予防支援事業（事業対象者・要支援1・2の方の給付管理）

#### ◆実績

		西宇治	東宇治南	中宇治	計
予防給付年間給付管理件数	直接	2,002	1,913	1,715	5,630
	委託	1,251	1,304	1,307	3,862
	合計	3,253	3,217	3,022	9,492
新規件数(初回加算)		84	97	95	276

### 2) 総合相談・権利擁護・包括的支援事業

#### ◆実績

相談対応の内容等	西宇治	東宇治南	中宇治	計
新規相談者数	554名	521名	544名	1,619名
（再掲）独居・高齢者世帯	212	328	297	837
（再掲）認知症・精神疾患	54	161	137	352
相談延べ件数	2,768	2,032	2,516	7,316
高齢者虐待に関すること(延べ)	128	143	78	349
ケアマネ支援(実人数)	29名	19名	12名	60名

### 3) 小地域包括ケア会議開催

#### ◆開催状況一覧

包括名	開催日	参加者数	テーマ
西宇治	7月7日	12名	「障害制度から介護保険制度への移行に伴い、ご利用者の日常の変化について考える
	11月22日	21名	地域で考える「居場所づくり」について
	12月15日	15名	関係性が希薄な家族に加え、子供一人が重度障害の家族の母親に支援が必要になった時
東宇治南	4月28日	5名	認知症の父と精神疾患の長女との生活について
	6月21日	11名	長年支援を拒み続けてこられたが、健康(生命)維持に支援が必要な88歳女性
	10月11日	13名	西木幡自治会の地域づくりについて考える
	12月6日	18名	西木幡自治会の現状を共有する。集会所の活用など。

	2月7日	19名	西木幡自治会の現状を共有する。介護予防の周知。
	3月7日	20名	西木幡自治会の現状を共有する。介護保険を知る。
中宇治	10月25日	13名	認知症、介護予防、居場所づくり、見守り
	2月14日	7名	他分野地域共生、地域包括ケアシステム

#### 4) 脳活性化事業

地域において認知症の正しい理解を広げ、自主的に介護予防に取り組んでいただくために、認知症についての情報提供や、体操、レクリエーション等を行う教室を包括圏域ごとに実施した。

##### 「レッツにしうじ」(西宇治圏域)

	会場	回数	参加人数
前期	西小倉地域福祉センター	6	97
	西小倉地域福祉センター	6	93
後期	西小倉地域福祉センター	6	95
	西小倉地域福祉センター	6	97
合計		24	382

##### 「あつまれ元気の森」(東宇治南圏域)

	会場	回数	参加人数
前期	東宇治地域福祉センター	6	91
	東宇治地域福祉センター	6	110
後期	東宇治コミュニティセンター	6	105
	東宇治コミュニティセンター	6	105
合計		24	411

##### 「おいでやす脳活道場」(中宇治圏域)

	会場	回数	参加人数
前期	うじ安心館	6	109
	広野地域福祉センター	6	91
後期	うじ安心館	6	59
	広野地域福祉センター	6	82
合計		24	341

## 5) 初期認知症総合相談支援事業

認知症になっても住み慣れた地域で生活が継続できるよう、専任の認知症コーディネーター2名（社会福祉士）と補助職員1名（看護師）を配置し、医療、福祉等とのネットワークを形成し、認知症の人や家族に対し、状況に応じた適切な支援を行うことと、初期認知症の特性に配慮して切れ目のない支援を提供するために、状況に応じた適切な医療、介護等との連携を図るとともに、必要となる社会資源等を構築することを目的に実施した。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、感染対策を講じながら事業の継続に取り組んだ。

### ① 認知症対応型カフェの企画・管理

宇治市全域の「れもんカフェ」12回のうち、8回分を昨年度まで国のモデル事業で取り組んだミーティングセンタープログラムを「れもんカフェ」の位置づけで開催した。併せて全域カフェを4回、管轄圏域のカフェを12回、計24回（市全体では年36回）の「れもんカフェ」を開催した。

圏域名	開催場所	回数	参加者数
全域	宇治市植物公園・宇治市文化センター・京都文教大学 京都認知症総合センター	4回	358
東宇治北圏域	ハーモニーやまはた・カフェクラリネ・喫茶六地蔵	3回	29
東宇治南圏域	宝善院・東宇治地域福祉センター・みんなのカフェぐりぐり	3回	56
南部・三室戸圏域	ピストロ de ナカガワ・Collabo Hause・明星町集会所	3回	59
中宇治圏域	宇治教会・Café 紀翔・広野地域福祉センター	3回	47
合計	16ヶ所	16回	549

※北宇治地域包括支援センターが管轄する、榎島、北宇治、西宇治、南宇治圏域は除く。

※参加者数にスタッフ、講師、演者は含めない。

### ミーティングセンターカフェ

開催日時	開催場所	開催内容	参加者数
5月15日 10:00～12:50	宇治市福祉サービス公社 他	お茶食会	15
6月11日 10:00～12:00	東宇治地域福祉センター	ヨガ教室	12
7月10日 9:30～12:00	宇治市福祉サービス公社 他	トウモロコシの収穫	12
8月20日 10:00～12:00	宇治市福祉サービス公社	オープン粘土陶芸	7
10月8日 10:00～12:00	宇治市福祉サービス公社 他	宇治散策～秋を探して～	14
11月12日 9:30～12:00	西小倉地域福祉センター	卓球大会	15
1月22日 10:00～12:30	宇治市福祉サービス公社	お食事会	12
3月11日 10:00～12:00	宇治市福祉サービス公社	絵手紙づくり	13

※参加者数にスタッフ、講師、演者は含めない。

## ② 認知症初期集中支援チーム事業の実施及び事例検討会の開催

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症の方やその家族に早期に関わるための「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的に実施した。

中宇治チームは市内4圏域を対象として、圏域の包括等との連携により実施し、20ケース【市全体としては30件】の訪問調査と介護サービス導入や、医療受診等必要な支援を行った。

### ◆チーム員会議

チーム員会議場所	会議開催数(回)	会議ケース(件)	年度内終了件数(件)	継続中
洛南病院	24	11	7	4
宇治おうばく病院	11	3	2	1
京都認知症総合センター	11	5	2	3
未実施	0	1	0	1
合計	46	20	11	9

※未実施は会議を実施せず。

※会議未実施ケースを含む、未終了ケース9件については来年度以降も継続して対応する。

### ◆担当圏域との調整会議（事例検討会）

宇治市、地域包括支援センターと一緒に、初期集中支援チームのケースについて事例や傾向を共有し、意見交換をした。また、残りの時間で、れもんカフェについても情報共有した。

回数	日時	内容	参加人数
1	5月29日 14:00~16:00	初期集中支援チーム員運営について、 れもんカフェ運営について、意見交換	<ul style="list-style-type: none"> <li>・包括 11名</li> <li>・市 3名</li> <li>・北宇治 2名</li> <li>・中宇治 3名</li> </ul>
2	3月23日 14:00~16:00	初期集中支援チーム員運営について、 れもんカフェ運営について、意見交換	<ul style="list-style-type: none"> <li>・包括 12名</li> <li>・市 2名</li> <li>・北宇治 2名</li> <li>・中宇治 3名</li> </ul>

## ③ 認知症を正しく理解するための連続講座の開催

市民や市内の介護保険事業者、医療関係者に対して啓発事業の一環として、京都府立洛南病院の森俊夫先生等を講師に、認知症を正しく理解いただくための連続講座を開催した。

全4回全ての講座を受講された方に宇治市長名で修了証を発行するとともに、希望者には宇治市の認知症事業のボランティアである「れもねいだー」に登録をいただいた。

また、「れもねいだー」を対象とした講座も別途開催した。

### ◆【認知症を正しく理解するための連続講座】

会場：東宇治地域福祉センター 2階

受講者数:20名 新規れもねいだー登録者数: 9名

〔れもねいだー登録状況〕登録者数：113名 ※活動辞退者を除く

回	開催日	内容	講師
1	9月3日 10:00~12:00	認知症あんしんサポーター養成講座	認知症コーディネーター 兒玉裕香
2	10月1日 10:00~12:00	認知症の医療とケア①	府立洛南病院 医師 森俊夫氏
3	11月5日 10:00~12:00	認知症の医療とケア②	府立洛南病院 医師 森俊夫氏
4	12月3日 10:00~12:00	宇治市の認知症施策のあゆみと展望	宇治市福祉サービス公社 川北雄一郎

◆【れもねいだー講座】 受講者数：24名（現：14名・新：10名）

開催日	会場	内容
1月14日 10:00~12:00	東宇治地域福祉センター	れもねいだーの「活動紹介」 ①認知症の人にやさしいまちを目指して ②れもねいだー体験談 ③グループミーティング

#### ④ 認知症あんしんサポーター養成講座の開催及びキャラバン・メイト事務局運営

##### ◆認知症あんしんサポーター養成講座

開催回数	受講者数
29回	1,159名

##### ◆宇治市キャラバン・メイト事務局

事務局として、キャラバン・メイトのボランティア加入手続き及び年2回の新聞発行、年2回のフォローアップ研修を実施した。

会場：第1回 生涯学習センター 第2ホール  
第2回 生涯学習センター 第2ホール  
参加実人数：18名 参加延べ人数：24名

回数	日時	内容	講師	受講者
1	7月12日 14:00~15:30	実践報告 意見交換会	事務局	10名
2	2月14日 14:00~15:30	意見交換会 啓発動画視聴	事務局	14名

⑤ 宇治市認知症家族支援プログラムの開催及び鈴の音会

◆宇治市認知症家族支援プログラム

開催回数：6回 参加実人数：5名 参加延べ人数：26名

会場：宇治市総合福祉会館 2階 212号室

回数	開催日時	内容・講師等	参加者
第1回	9月9日 13:00~16:00	「つくろうネットワーク」 講師：認知症の人と家族の会代表 河合雅美氏	5名
第2回	10月12日 13:00~16:00	「認知症について」 講師：おうばく病院 医師 樋川 毅氏	5名
第3回	11月11日 13:00~16:00	～上手に使おうサービス利用～ 講師：東宇治北地域包括支援センター 園村雅裕氏	4名
第4回	12月9日 13:00~16:00	介護の仕方と介護の心「見つめてみましょうあなたの心」 講師：認知症の人と家族の会 越野 稔氏	5名
第5回	1月13日 13:00~16:00	認知症の人との関わり方 講師：ニングルの森 池田アサミ氏・柏村みさ子氏	4名
第6回	2月16日 13:00~16:00	医師と上手に付き合おう 講師：やえクリニック 医師 中嶋弥恵氏	3名

◆鈴の音会

毎月第3金曜日に年12回(内10回は交流会、2回は研修会)開催した。

- 交流会 毎月第3金曜日の午後(13:00~15:30)開催(全10回)

参加実人数：11名 参加延べ人数：41名

場所：宇治市総合福祉会館2階

- 研修会 開催回数：2回 実人数：13名 参加延べ人数：17名

場所：第1回 宇治市総合福祉会館2階

第2回 宇治市総合福祉会館2階

回数	日時	内容	講師	受講者
1	10月21日 13:00~15:30	薬剤師との手なつきあい方	ゆう薬局 陣野 芙美子氏	11名
2	3月17日 13:00~15:30	私を大切に、私をほめてあげよう	和禅訪看ステーション 森田 美栄氏	6名

## ⑥ 認知症カフェ運営者・スタッフ研修

京都府下で認知症カフェを運営している団体の運営者・スタッフを対象とした研修会を企画・実施した。今年度もオンライン研修とした。

回数	開催日	テ ー マ (内容)	講 師	参加者数
1	11月17日 14:00~16:00	一般社団法人栄樹庵 平塚カフェ&ミーティングセンターの実践 (神奈川県平塚市)	早川景子氏	35名
2	12月20日 14:00~16:00	認知症カフェからの学びと気づき 土曜の音楽カフェ (宮城県仙台市)	矢吹知之氏	31名
3	1月23日 14:00~16:00	「認知症の人への心理的支援と認知症カフェでのピアサポート」一般社団法人三豊・観音寺市医師会三豊市立西香川病院 (香川県三豊市)	大塚智丈氏	29名
4	2月14日 14:00~16:00	「地域における認知症カフェの実践について」 社会福祉法人ゆうしん 特別養護老人ホームくるま乃(新潟県新発田市)	相馬房嘉氏	22名
5	3月14日 14:00~16:00	「ようこそららカフェへ」医療法人水の木会下関病院(山口県下関市)	小川咲子氏	25名

## 6) 認知症の人にやさしいまち・うじ推進事業

認知症になっても住み慣れた地域で生活が継続できるよう、専任の認知症コーディネーター2名(社会福祉士)と補助職員1名(看護師)を配置し、市が掲げる「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現に向けて事業を実施した。認知症の本人・家族の声をもとに、ボランティア(れもねいだー)や企業(れもねいど加盟企業・団体)との共働により、事業に取り組んだ。

### ① 第9回認知症フォーラム in 宇治の開催

【テーマ】 「れもねいどアクション! ~10年を振り返り次の10年に向けて~」

【開催日】 令和5年3月21日(祝) 12:00~16:30

【場 所】 宇治市生涯学習センター 第1ホール・第2ホール

【参加者】 144名

【内 容】

1. れもねいど2022活動報告

2. 特別鼎談「たどり着いた地平~認知症の人にやさしいまち・うじの10年~」

伊藤俊彦氏・元子氏(認知症の本人・家族)・藤田佳也氏(宇治市社会福祉協議会常務理事)  
森俊夫氏(京都府立洛南病院 非常勤医師)

3. 松村淳子宇治市長挨拶

4. シンポジウム「れもねいどアクション」

報告者

井内 徹氏(京野菜いのうち代表) 永谷英樹氏(株式会社永谷木材代表取締役)

森田浩史氏(NPO法人おはな理事長)

コメンテーター

松村淳子宇治市長

森俊夫氏（京都府立洛南病院 非常勤医師）

コーディネーター

平尾和之氏（京都文教大学教授）

## ② 宇治市認知症アクションアライアンス“れもねいど”推進協議会の開催

宇治市認知症アクションアライアンス“れもねいど”の事務局として、当事者、関係団体代表者等で構成された推進協議会を年4回開催した。

回	日時	会場	内容
第1回	6月27日 15:00~16:30	うじ安心館 3階 ホール	“れもねいど”事業報告 (しごとれもんお茶摘み)・意見交換 他
第2回	9月26日 15:00~16:30	うじ安心館 3階 ホール	“れもねいど”事業報告 (しごとれもん万願寺とうがらし)・意見交換 他
第3回	12月19日 15:00~16:30	うじ安心館 3階 ホール	“れもねいど”事業報告 (しごとれもんこかぶ)・意見交換 他
第4回	3月13日 15:00~16:30	宇治市役所 8階 大会議室	“れもねいど”事業報告 (しごとれもんほうれんそう)・意見交換 他

## ③ 京都文教大学グループミーティング

京都文教大学で当事者グループミーティングについては、全6回開催され参加した。また、12月に開催された「ともいきフェスティバル」では全域れもんカフェを認知症当事者、家族、学生の協力を得て大学内で開催した。

回	日時	会場	内容
第1回	5月17日 15:10~16:40	京都文教大学	「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現に向けて認知症当事者と企業・団体のコラボレーション
第2回	6月21日 15:10~16:40	京都文教大学	「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現に向けて認知症当事者と企業・団体のコラボレーション
第3回	7月19日 15:10~16:40	京都文教大学	「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現に向けて認知症当事者と企業・団体のコラボレーション
第4回	10月18日 15:10~16:40	京都文教大学	「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現に向けて認知症当事者と企業・団体のコラボレーション
第5回	11月15日 15:10~16:40	京都文教大学	ともいきフェスティバルに向けて
第6回	1月17日 15:10~16:40	京都文教大学	今年度のまとめ

#### ④ れもねいだー交流会及びれもねいど通信の発行

##### ◆れもねいだー交流会

れもねいだーの交流と資質向上のため開催した。

回数	開催日時	開催場所	内容	参加者数
1	6月30日 10:00~12:00	公社中宇治事業所	～お茶摘みで茶園さんからいただいたお茶を飲んで交流しましょう♪～	20名
2	10月13日 14:00~15:30	井内農園	～芋ほり～ 秋の味覚サツマイモを掘って焼き芋の準備をしましょう！	10名
3	10月14日 10:30~12:30	井内農園	～焼き芋～ 秋の味覚サツマイモを美味しくいただきながらお話ししましょう！	8名

##### ◆れもねいど通信

「認知症の人にやさしいまち・うじ推進事業」を中心に宇治市の認知症事業について広報するため、隔月で年6回通信を発行した。通信についてはホームページやFacebook、LINEなどで発信した。

#### ⑤ しごとれもん

【認知症当事者の方の就労を目的として、れもねいど加盟登録団体とともに取り組んでいる活動】

##### ◆茶摘み

開催日時	開催場所	参加人数	収穫量kg
5月2日 9:30~12:00	青山茶園	本人2/家族2/れもねいだー9/スタッフ12	11.4
5月9日 10:00~12:00	渡辺茶園	本人2/家族2/れもねいだー4/スタッフ7	28.0
5月10日 10:00~12:00	渡辺茶園	本人5/家族5/れもねいだー3/スタッフ7	21.14
5月11日 10:00~12:00	渡辺茶園	れもねいだー2/スタッフ7	8.44
5月15日 10:00~12:00	渡辺茶園	本人7/家族8/スタッフ5	11.46
5月16日 10:00~12:00	渡辺茶園	本人1/家族1/れもねいだー2/スタッフ2	10.38
5月17日 10:00~12:00	渡辺茶園	本人2/れもねいだー4/スタッフ4	10.56

8年目の取り組みとして実施。認知症の本人11名、家族10名、れもねいだー17名、スタッフその他19名の計57名(延べ105名)が参加した。7日間で101.38kg摘み取り、茶園からは1kg400円で買い取っていただき、参加者に賃金として支払いをした。

### ◆万願寺とうがらし

開催日時	開催場所	参加人数	収穫・販売量 kg
7月27日	井内農園 宇治市福祉サービス公社	本人7/家族4/れもねいだー10/ スタッフ他12	68.20
7月28日	井内農園 宇治市福祉サービス公社	本人7/家族7/れもねいだー12/ スタッフ他18	94.25

6年目の取り組みとして実施。認知症の本人10名、家族8名、れもねいだー16名、スタッフその他24名の計58名(延べ77名)が参加した。162.45kgの万願寺とうがらしを収穫し、れもねいど加盟登録企業・団体へ販売、得た収入の一部を参加者に賃金として支払いをした。

### ◆こかぶ

開催日時	開催場所	参加人数	収穫・販売量
11月8日 9:30~12:00	井内農園 宇治市福祉サービス公社	本人7/家族3/れもねいだー10/ スタッフ他12	377個
11月10日 9:30~12:00	井内農園 宇治市福祉サービス公社	本人8/家族4/れもねいだー10/ スタッフ他8	398個

5年目の取り組みとして実施。認知症本人13名、家族7名、れもねいだー14名、スタッフその他15名の計49名(延べ62名)が参加した。2日間で計775個のこかぶを収穫し、れもねいど加盟登録企業団体へ販売、得た収入の一部を参加した認知症当事者に賃金として支払いした。

### ◆ほうれん草

開催日時	開催場所	参加人数
2月24日 13:30~15:30	井内農園 京都認知症総合センター	本人4/家族6/れもねいだー5/スタッフ他6

初めての取り組みとして実施。認知症本人4名、家族6名、れもねいだー5名、スタッフその他の6名の計21名が参加した。ほうれん草を収穫し、京都認知症総合センターで調理し試食しながら交流を図った。

## 宇治市地域福祉センター指定管理事業

指定管理者として、西小倉地域福祉センター、東宇治地域福祉センター、広野地域福祉センターの施設・設備にかかる管理運営を行った。（※新型コロナウイルス感染拡大防止により一部閉館）

### 1) テイルーム等の利用状況

◆実績

	西小倉		東宇治		広野		計	
	利用者数	(内入浴)	利用者数	(内入浴)	利用者数	(内入浴)	利用者数	(内入浴)
男性	597	0	4	0	237	0	838	0
女性	395	0	248	0	1,470	0	2,113	0
計	992名	0名	252名	0名	1,707名	0名	2,951名	0名

※西小倉事業所のテイルームについては、毎週月・木の午前中に、住民主体型通いサービスを実施中。

※入浴施設の一般開放は新型コロナウイルス感染症対策として休止した。

### 2) 施設の利用状況

◆実績

利用区分	西小倉		東宇治		広野		計	
	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
※（ ）は広野での呼称 ボランティアルーム	316	3,645					316	3,645
地域交流室(会議室)	390	9,016	474	9,951	549	8,276	1,413	27,243
研修室(介護者教育室)	386	9,000	474	9,951	472	8,483	1,332	27,434
料理教室	222	3,302	122	2,548	41	227	385	6,077
計	1,314 件	24,963 名	1,070 件	22,450 名	1,062 件	16,986 名	3,446 件	64,399 名

### 3) コミュニティカフェ及び地域福祉のつどい開催

今年度は新型コロナウイルス感染症感染対策の観点から地域住民向けの事業を中止とした。

（１）多様な関係主体間の定期的な情報共有及び連携・協働に関する業務

○ 宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議（第１層）への出席

7月22日（金）・3月10日（金）に開催。グループワークでのファシリテーター及び当社が実施した事業について報告した。

○ 宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議（地域版）への取り組み（２層業務）

圏域単位の地域課題等を抽出し、整理、課題解決の取り組みとして、地域包括支援センターと連携して、地域の関係者との関係づくりを進めた。

【中宇治圏域】

団体名・地区	内 容
琵琶台まちづくり推進会議 G&B	令和3年1月～準備会、令和3年9月設立 構成：自治会、学区福祉委員、民生委員、喜老会、子ども会 経緯：坂の多い地域、高齢化率40%を超え、孤独死等をきっかけに結束 目的：①琵琶台地区の高齢者が安心して暮らせる地域環境づくり ②一人暮らし高齢者や高齢世帯の日常生活の見守りや災害時の支援体制を構築する。 役割：事務局と協議し、参加者への促しや課題整理、課題の明確化をする。 開催回数：9回

【西宇治圏域】

団体名・地区	内 容
伊勢田ふれあいプロジェクト	構成：小学校、PTA、子ども会連絡協議会、防犯推進委員会、安全管理委員会、青少年健全育成協議会、民生児童委員協議会、喜老会（2団体）、サロン（2団体）、学区福祉委員会、少年補導、体育振興会 経緯：福祉委員会研修部会から各種団体がコロナ禍で行事ができないことや各種団体との横のつながりがいいことから協働して取り組めることがないか提案した。 目的：各種団体を通して子どもたちの見守りや登下校の立ち合い等高齢者の新たな役割のために、各種団体との協働実践を行う。 役割：プロジェクトの進行管理 開催回数：3回（別途打ち合わせ5回）
ちょっと出ていこうよ！ふれあいプロジェクト ～西小倉地域～	構成：おぐらばんごはんの会（ローソン小倉堀池店オーナー） 西小倉地区社会福祉協議会・宇治市社会福祉協議会 経緯：高齢者や子どもたちのコミュニティをつくり、地域で集える場を協働でつくりだそうとするプロジェクト 目的：子どもから高齢者まで集うイベントを企画し、地域福祉課題の整理 役割：プロジェクト課題整理、自治会等への提案。 開催回数：3回

## (2) 生活支援サービス等の担い手となるボランティアの養成等に関する業務(第1層)

### ○ 宇治源輝人講座の実施(宇治市健康長寿サポーター養成講座入門編)

住み慣れた地域で生き生きと暮らすために超高齢社会の現状と課題を知り、いつまでも元気ではつらつと輝く人生を贈るためのヒントを学び、地域で活躍していただくための担い手養成することを目的にした入門講座を実施した。

内 容	講 師	第1期	第2期
「超高齢社会を元気に生きるヒント～アクティブなシニアライフを共に考えてみませんか?～」	宇治市生活支援コーディネーター 大槻 剛	7月7日 7月12日	11月8日 11月9日
「楽しくボランティア活動をするために」	京都ボランティア協会 岡野 英一氏 宇治市社会福祉協議会 米田 守氏 宇治市生活支援コーディネーター 大槻 剛	7月21日 7月19日	11月16日 11月22日
受講者数		16名	20名
サポーター登録		12名	12名

### ○ 宇治市健康長寿サポーターステップアップ講座(実践編)の実施

宇治源輝人講座を受講し、健康長寿サポーターとして登録された方、既に健康長寿サポーターとして活動される方を対象に、住民主体型通所サービス及び生活支援サービスや各種団体活動等を立ち上げていくために必要なスキルを学ぶことを目的に開催した。

内 容	講 師	第1回	第2回
第1回「健康長寿の秘訣」 「老いたく～成年後見制度について学ぶ」 第2回「健康長寿の秘訣」 「認知症サポーター養成講座」	宇治市生活支援コーディネーター 大槻 剛 山城権利擁護ネットワーク 小林 千草氏 キャラバン・メイト浅原ほなみ氏・田口孝子氏	9月22日	12月2日
第1回「ICTを活用したコミュニケーション～スマホでLINEを使ってみよう」 第2回「植物公園にて福祉用具体験」	荒木智之氏 宇治植物公園 (ウエジメディカル協力)	9月27日	12月5日
第1回「滋賀県長浜市の支え合いの取組み」 第2回「楽しく体を動かそう～みんなとできる体操について」	ゆうき番商店街 まちづくり役場 介護予防サポートセンター 川村 久美子	9月30日	12月7日
第1回「やりたい活動を見つけよう～活動団体との出会いの場～」 第2回 救命講習会・全体振り返り	通所型サービス 6団体 訪問型団体 2団体 宇治中消防署員	10月7日	12月15日
受講者数		18名	20名

○「第7回宇治市健康長寿フェス2023」の開催

開催日：令和5年2月25日（土）10時～16時
場 所：宇治市生涯学習センター 第一ホール
内 容：テーマ：つながりを広げよう～新しい生活様式の中での新たな出会いと地域づくり～
開催日時：令和5年2月25日（土）10時～16時
場 所：宇治市生涯学習センター第1ホール、第2ホール
参加者数：165名
内 容：①通いの場発表会 ・通いの場「糸ん」・つどいのえまり（笑舞利）
②京都文教大学 KASANEO×高齢者アカデミー生とのファッションショー
③基調講演
「暮らしを豊かにするために、どう寄り添うのか～人を支えられ、人を支える～」
森川知史氏（元京都文教短期大学教授）
④活動発表 ・訪問生活支援「母子草（ははこぐさ）」
・やまびこ～紫ヶ丘を住みやすくする会
⑤各種団体パネル展示・相談コーナー

○ 介護予防・生活支援サービスの立ち上げ・運営支援

【住民主体通所型サービス】

- ・住民主体通所型サービス8団体への運営支援（情報提供、運営サポート、月例会議への出席等）を行った。
- ・新たな活動団体として、4月から「なっちゃんファーム」（槇島圏域）、11月から「みんなの平盛」（南宇治圏域）の設立を支援した。

【住民主体生活支援サービス】

訪問による訪問生活支援「母子草（ははこぐさ）」の運営サポートを継続的に行い、令和4年5月に宇治市で初めて介護保険における住民主体生活支援サービスを開始した。

**産後ケア事業（訪問型）**

宇治市福祉こども部保健推進課の事業である産後ケア事業のうち、訪問による家事支援の事業を受託し、介護福祉士等資格を有するサポーターを派遣した。

◆実績

実利用者数	24名
延べ利用回数	109回
延べ利用時間	195.75時間



利用者とともに 市民とともに